

「建設技術展」に圧入工法を出展

～ 会員企業も圧入工法と自社のPRを実施! ～

国土交通省・地方自治体等に対して普及活動を展開

～ 「技術講習会」「現場見学会」を開催 ～

(一社)全国圧入協会(JPA)は、南海トラフ巨大地震に備える太平洋沿岸地域、ならびに自然災害に見舞われ災害復旧に取り組んでいる地域等に対して、国土防災に優れた圧入工法の「技術講習会」及び「現場見学会」を開催し普及活動を展開しています。最近の工法普及活動について紹介します。

技術講習会 / 国土交通省 中部地方整備局、愛知県

国土交通省 中部地方整備局は、想定される南海トラフ巨大地震による津波災害、ならびに大規模な自然災害に強い街づくりを目指しています。愛知県も、国と連携して大規模災害の発生時に社会インフラを守るための地域強靱化を進めています。そのような中、協会は中部地方整備局や愛知県の各建設事務所との間で、防災技術に優れた圧入工法の説明ならびに講習企画を協議してきました。その結果、中部地方整備局では管轄する静岡・愛知・三重・岐阜各県の6ヶ所で合計139名、愛知県では県内4ヶ所の事務所で合計111名の職員の方に「技術講習会」を行いました。

技術講習会&現場見学会 / 熊本市、三重県 四日市市

11月20日に、国土交通省 熊本河川国道事務所発注の「白川渡鹿上流築堤護岸外工事」において、鋼管杭を回転切削圧入して連続壁を構築するジャイロプレス工法の現場見学会を開催しました。当日は、発注者や設計コンサルタント等28名が参加。ジャイロプレス工法をはじめとする圧入工法の講習の後、現場での解説・質疑応答が活発に行われました。

11月21日には、三重県四日市港管理組合発注の「四日市地区千歳運河緑地護岸整備工事」において、ジャイロプレス工法および鋼管杭を杭径の2.5倍程度の一定間隔を保持しながら圧入できる飛び杭施工「スキップロック工法」の現場見学会を開催しました。当日は午前の部と午後の部で2回行われ、発注者、設計コンサルタント、建設会社の合計51名が参加。圧入状況や先行削孔の状況が見学でき、圧入技術の優位性を印象づけることができました。

第1回「鋼管杭施工管理士」検定試験が行われました

鋼管杭工法における優秀な技術者の育成を目的に、第1回「鋼管杭施工管理士」検定試験が11月18日に仙台、東京、大坂、福岡にて行われました。この検定試験は、(一社)鋼管杭・鋼矢板技術協会を中心に(一社)全国基礎工事業団体連合会、JPAの3団体が協力して創設された資格制度で、将来は国土交通省の登録試験制度への申請を視野に入れています。第1回の検定試験は合計で523名が受験し、関心の高さがうかがわれました。なお、検定試験に関する情報はウェブサイトをご覧ください。

鋼管杭施工管理士検定試験委員会ウェブサイト www.sppshiken.com



▲技術講習会 (木曾川上流河川事務所)



▲ジャイロプレス工法 現場見学会 (熊本市)



▲ジャイロプレス工法・スキップロック工法 現場見学会 (三重県 四日市市)



(一社)全国圧入協会(JPA)は、産官学に対する広報事業の一環として主要な建設技術展に圧入工法を出展しています。10月は、「九州建設技術フォーラム」「建設技術フェア2018in中部」「建設フェア四国in高松」「建設技術展2018近畿」が相次いで開催され圧入工法を出展しました。このうち名古屋市、大阪市、高松市で出展した建設技術展では、参画した会員が協会技術員と協力して来場者へ圧入工法の特長や自社の実績を説明しました。

建設技術フェア2018in中部 / 名古屋市・吹上ホール

建設技術フェアは、10月17日、18日に吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館)で開催されました。このフェアは237社・団体が建設技術を出展し、来場者は15,700人を超える大規模な建設技術展です。

参画した会員は、(株)梶川建設、ジオテック(株)、(株)角藤、(株)小澤土木、(株)技研施工の5社。出展の準備にあたっては、会員が中心となって企画を進めました。当日は目立つためにハッピーを着用。背中には圧入機の写真に「圧入魂」の文字がプリントされています。協会ブースを訪れた方には長期保存ができる「ようかん」を配りながら、あらゆる施工条件をクリアする圧入工法の特長をジオラマで説明しました。そして自社のパネルへご案内。その結果、協会ブースの来場者はおよそ250名という大勢の方々に圧入工法と自社の会社情報や実績をPRすることができました。



▲圧入魂のハッピーを着て熱心に解説 (名古屋市)

建設技術展2018近畿 / 大阪市・マイドームおおさか

建設技術展・近畿は、10月24日、25日にマイドームおおさか(大阪市中心部)で開催されました。この建設技術展は152社・団体が建設技術を出展し、来場者が15,000人規模の全国有数の展示会です。

参画した会員は(株)藤井組と(株)技研施工。展示ブースは3階のロビーで、地すべり抑止をイメージした三種類の杭構造によるジオラマ、圧入工法バリエーションのパネル、圧入機の模型等をバランス良く配置しました。そして、会員・協会の説明員が圧入工法と自社の実績を丁寧に説明。協会ブースの来場者は約180名となり、中部に続いて近畿においても、産官学の様々な方に、圧入工法と会員の活躍ぶりを紹介することができました。



▲展示も説明も分かりやすく (大阪市)

協会は「九州建設技術フォーラム2018」(10月9日、10日 会場:福岡市)、「建設フェア四国2018in高松」(10月19日、20日)にも圧入工法を出展しました。特に建設フェア四国では宮崎基礎建設(株)、(株)藤本重機が参画され、四国で初めての圧入工法の展示を協力して行いました。

Infomation

事務局からのお知らせ

表彰案件をご紹介します!

次頁をどうぞご覧ください

- 現場部門賞 杉崎基礎 株式会社様
- メンテナンス部門賞 株式会社 秋田県南重機様
株式会社 出雲技研様

「圧入工法 積算ソフト」による技術支援について

協会では、圧入工法に関わる方に「積算ソフト」の普及による技術支援をしています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

項目	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト
1.1	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト
1.2	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト
1.3	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト
1.4	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト
1.5	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト
1.6	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト
1.7	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト
1.8	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト
1.9	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト
1.10	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト	積算ソフト

協会 Web サイト www.atsunyu.gr.jp

【新会員のご紹介】

- 正会員 ・ 滋賀基礎工業(株)様 滋賀県愛荘町
- ・ (有)篠原基礎様 高知県高知市
- 賛助会員 ・ シーアイテック(株)様 東京都江東区
- (2018年9月~12月入会、入会順・会員別)

【会員数の状況】(2018年12月14日現在)

- ・ 正会員 194社
- ・ 協賛会員 24社
- ・ 賛助会員 4社4団体
- ・ 特別会員 6名

本年もお世話になりました。2019年も協会活動へのご協力をよろしくお願い致します。
事務局一同

栄えある JPA 第 3 回表彰 連載②

～「現場部門賞」「メンテナンス部門賞」をご紹介します！～

【現場部門賞】 杉崎基礎 株式会社「神田川整備工事」

東京都の神田川流域では、集中豪雨等の際に地下空間が浸水被害を受けるなど都市型水害という課題を抱えています。当工事は、杉並区の栄泉橋付近から宮前橋までの区間で既設護岸の解体を含む拡幅整備工事です。しかし、現場は作業ヤードが狭く、上空には高圧線がありまた桜の木の保全のため低空頭作業が条件でした。そこで、ケーシングと鋼管杭の収納ラックを製作して使用機材の集積を図り、上空制限に対しては低空頭で回転切削圧入できるジャイロプレス工法で施工しました。厳しい施工条件でしたが、竣工できたことを嬉しく思います。近隣では夏には地元のお祭りに参加するなど地域貢献もしています。来年の桜の開花、夏祭りへの参加が待ち遠しいです。



【メンテナンス部門賞】 株式会社 秋田県南重機

同社は、秋田県大仙市に本社を置き、東北地方を中心に圧入施工等で地域社会に貢献している企業です。機械の故障は工事関係者に多大な迷惑を与えるので、経営方針として、特に「機械の重要性」を重視しています。それは日常業務において「入場前教育」「現場施工者による圧入機の丁寧な取扱い」「入出庫点検の徹底」「現場巡回による不具合の早期解決」を確実に行っていきます。今回の受賞は、社員一人ひとりが「機械の重要性」というテーマに取り組んだ成果だと捉えており、非常に光栄なことだと思っています。さらなる仕事の効率化を目指して、次回受賞につなげたいと思います。



【メンテナンス部門賞】 株式会社 出雲技研

同社は、現場のトラブルを絶対に起こさないという経営者の考えにもとづき、圧入機の入庫時には現場施工者と整備担当者が一緒に点検整備を行っています。現場施工中に違和感があれば、その情報を共有し機械の診断や原因の究明まで共同で行っています。圧入機は複数台を保有しているので、各機の整備・補修状況を管理シートに記録しており、他と比較分析しています。さらに、社内では特定自主検査員の資格取得を進め、メンテナンス力の向上並びに人材の育成に力を入れていることが今回の受賞につながりました。



Infomation

2019 年度 第 4 回表彰の公募を開始しました！

[会員サイトをご覧ください](#)

圧入工法のさらなる発展を目的に行っている JPA 表彰制度。2019 年度 第 4 回の表彰については、会員サイトを通じて公募を開始しました。今年度の第 3 回表彰では合計で前年度に比べ 24 件増の 61 件の応募がありました。このように表彰制度が定着する中、会員各位には、早い時期から応募案件の準備をしていただくため、公募開始の時期を早めたものです。

第 4 回表彰の主なポイントは次のとおりです。

- 表彰の種類は、圧入技術表彰（現場部門賞、メンテナンス部門賞、オペレーター部門賞）、映像表彰（写真部門賞、動画部門賞）（前回と同様）
 - 写真部門賞は、特に「人との関わり」「防災・減災」を 2019 年度のテーマとして推奨。（但し、他のテーマでの応募もお待ちしております）
- 詳細は会員サイトをご覧ください、奮ってご応募ください。



▲ 第 3 回現場部門賞の受賞企業